

三卷本『色葉字類抄』仏法部の研究 ―用例を中心に―

藤本 灯

はじめに

院政期に成立した三卷本『色葉字類抄』（以下、字類抄）の収録語彙は、従来の研究によって、古記録・古往来を中心とする漢字文献、漢詩文類、仏教説話集等の和漢混淆文にその用例の見られることが確認されている。しかし、編纂者が何故、このような様々な種類の語を収録したかという点については、未だに統一見解が得られていないように思う。そこで本研究では、字類抄二二部中一五番目の「疊字部」に収録された「仏法部」語彙二六語を対象として、当時の文献での使用分布の偏りを概観し、この問題に一石を投じることとする。なお、筆者は別稿（藤本二〇一三年三月／訓点語と訓点資料）に仏法部語彙の字音について検討したが、これと併せて字類抄の輪郭がより明

瞭となることを期待したい。

一 仏法部語彙とは

抑も仏法部とはどのような性格の語群であるのか。一般には、仏教に関する語の集合であることが想像されるが、仏法部は「天象部」や「名字部」とは異なり、「疊字部」中の下位意義分類に過ぎぬものであり、仏典や仏教書から抄出された専門性の高い語群等とは距離のあるものと考えられる。すなわち、「疊字部」に収録された二字以上の熟語を、更に「部」「分」「名」等に分類する際に、比較的仏教に関連する語群を「仏法部」としたものであろう。

仏法部語彙の性格を知るために、試みに次の三点についてそれぞれ概観した。

- ① 仏教関係語の字類抄内での配置
- ② 仏法部語彙と同等の仏教関係語の字類抄収録状況

③「分」名から推察される仏法部語彙の性格

①例えば、字類抄中、構成字に「仏」を含む語で、仏法部にない語は次の三語である。

・仏壇 フツタン（地儀・黒川本中一〇一オ）

・仏師 フツシ（人倫・黒川本中一〇二オ）

・興隆仏法（曇字・前田本下一二ウ）

前二者のように、仏法部語彙と同じレベルの語義を備える語でも、上位の意義分類により別部に収録された語は少なくない。「諸寺部」に「塔頭」「根本中堂」等とあるのも、この事情によるものである。

また「興隆仏法」のように、三字以上の熟語からなる仏教関係語は、「曇字部」の最後に「長曇字」として並べられる語群の一部である。この排列（長曇字への配置）は、原則として曇字部内の他の意義分類よりも優先して行われたと考えられるため、仏法部に所属する「堂童子」「御齋会」の二語も本来は「長曇字」として配されるものであったものと推察出来る。筆者は「長曇字」について本集第四・五号に述べたことがあるが、「一揅手半」「善知識」の如き仏教関係語も多く擁しており、仏教関係語を採す際には必ず目を通すべき部の一つと言える。

これらのことから、字類抄中の仏教関係語の全てが仏法部に含まれる訳ではないことは一目瞭然である。

②本稿第二節において、仏法部語彙の用例調査を行ったが、

その際に筆者が、使用頻度・表記難度等の観点から「字類抄仏法部語彙と同等」のレベルであると認識した語群の中から数語をここに挙げ、字類抄への収載状況を確認する。

まず、以下の語群は、①で述べた事情に類するが、仏法部以外に収録されるものである。雑部・人倫部・官職部など他部に分類されたものの他にも、曇字部中別部に下位分類されたために仏法部語彙とはならなかったものである。

・袈裟（ケ雑物・黒川本中九七ウ）

・菩薩（ホ人倫・前田本上四三オ）

・法師（ホ人倫・前田本上四三オ）

・僧都（ソ官職・黒川本中一九ウ）

・僧正（ソ官職・黒川本中一九ウ）

・供奉（ク官職・黒川本中八二オ）

・座主（サ官職・前田本下五四ウ）

・表白（ヘ曇字・雑部・前田本上五三オ）

・利益（リ曇字・雑部・前田本上七五ウ）

・布施（フ曇字・雑部・黒川本中一〇七ウ）

・参拝（サ曇字・雑部・前田本下五三オ）

・娑婆（シ曇字・雑部・前田本下八四オ）

・祈祷（キ曇字・神社部・前田本下六一オ）

・慈悲（シ曇字・人倫部・前田本下八一ウ）

これに対し、以下の語群は字類抄に収録されない。

・入道・法名・往生・僧徒・涅槃・和尚・願文・観音・仏教
・仏陀・仏道・護法・極樂・天竺・參籠・經典・祈誓・瑜伽
・出家・修羅・修善・舍利・淨土・宿業・写經・沙門・釈尊
・淨衣・禪尼

これらの語群が採録されなかった事情について、今明確なことを述べることは出来ないが、語の取捨（あるいは遺漏）は、字類抄の編纂方針・編纂方法に関わる問題として今後検討されるべきである。

③ 仏法部の下位分類として「分」「名」があり、「分」「名」については以下の通りである。

釈教分・内典分・寺家分・法会分・僧侶分

これらの語義を改めて示せば以下の通りであり（それぞれ仏法部の語例を《》に付した）、このことが仏法部のおよその内容を表すものであると言うことが出来よう。

◇ 釈教：釈迦牟尼の説いた教え。仏教の意。（中村）

《八教・五時・釈教》

◇ 内典：仏教の典籍。仏典。外典（仏教外の書物）に対していう。（中村）

《法文・長行・華嚴・天台・三論・密教》

◇ 寺家：寺院、又は寺中に住する僧衆を云ふ。（望月）

《中門・講堂・札盤・梵鐘・金堂・刹柱》

◇ 法会：① 經典を誦受する集まり。② 仏事・法要をいう。仏・菩薩

を供養し、衆僧や民衆に食事を施し、説法などを行なう集まりで、インド以来行なわれた。（中村）

《聽衆・堅義・講説・導師・維摩・呪願》

◇ 僧侶：出家してみずから修行するとともに仏の道を教え広める者の集団。また、その個人。桑門。僧徒。（日国）

《説經・論議・道心・念誦・安居・坐禪》

この他、「分」名が付されず、単に「仏法部」とのみある次のような語群もあるが、これらは、上の五分類に限定されない、広く仏教に関わる語であると理解出来る。

《引導・鎮護・知識・頂戴・三昧・祈念》

さて、以上に概観したように、仏法部語彙は、字類抄の中で唯一の仏教関係語群である訳ではない。しかし、疊字部中の他部と同様に、一つの特色を帯びた語群であることは間違いなく、これらの、当時の仏教関係以外の書物にどの程度使用されたかを調査することにより、字類抄編者の目指した辞書像の一面を窺うことが出来るものと期待する。

二 仏法部語彙の平安・鎌倉期の用例

仏法部に分類された疊字部語彙全二二六語について、平安・鎌倉期を中心とする文献内での使用の有無を調査した。

〔表A〕に調査結果を示す。また〔表A〕の分析結果を〔表B〕、〔表G〕に示す。

〔凡例〕

・〔表A〕には、該当文献に該当語が存在するか否かを、各ジャンル中の文献数で示した。見出し語は、なるべく通行の字体に置き換えて示した。近似の字体や語の注文、所在等の情報は、藤本（二〇一三年三月／訓点語と訓点資料）を参照された。

・本調査は表記の需要を問題とせず、語の使用範囲を調べるものである。よって、「引攝・引接」「論議・論義」「加茶・迦陀」「壇越・檀越」「僧房・僧坊」「綵色・彩色」「聖教・正教」「瀉瓶・写瓶」「廻向・回向」等、それぞれを同じ語であると認定したものであるが、これをいちいち断らない。各異体字、抄物書き、仮名書きの語についても同様である。仮名書きかつ訓読みの場合や構成漢字の字順が異なる語も原則として採用しなかった。「受記・授記」「受戒・授戒」については、別語であるが密接に関連する語であるためそれぞれ「受記」「受戒」に計上した（全て前者が字類抄表記）。

・恭敬礼拝「三帰五戒」「三明六通」「慚愧懺悔」「自利利他」等の四字熟語に見える語で、上位語と下位語がそれぞれ二字熟語として仏法部に収録されるものについては、それぞれの語に計上した。また複合語の上位語・下位語として仏法部語が見える場合も同様である（例：善知識↓知識、南大門↓大門、華嚴経↓華嚴、摩訶止観↓止観）。

・寺名（白馬等）、人名（相応等）等の固有名詞類についても仏法部語と同一した場合がある。

・「盤驗」は二箇所（49・76）に出現するが、本調査では語の読みを問題としないため、仮名文献に「れいけん」等と仮名表記のあるも

のでも両者に計上した。

・「J38御齋会」には「齋会」の語も計上した。

・用例調査の対象としたのは、以下の文献である。

*各ジャンル内の排列はおよその成立年代順とし、使用した索引類を示したが、底本等の情報は省略した。またここに示さないが、各種データベース・本文・影印を補助的に使用した場合がある。

【王朝物語】（五種）

・落窪物語…『落窪物語総索引』

・源氏物語…『源氏物語大成 索引篇』（松尾聡・江口正弘編／明治書院／1967）

・夜の寝覚…『夜の寝覚総索引』（阪倉篤義・高村元継・志水富夫編／明治書院／1974）

・浜松中納言物語…『浜松中納言物語総索引』（池田利夫編／武蔵野書院／1964）

・狭衣物語…『狭衣物語語彙索引』（塚原鉄雄・秋本守英・神尾暢子編／笠間書院／1975）

【日記文学】（五種）

*『和泉式部日記』には該当語が認められなかったため、表内には他五文献についての調査結果を示した。

・土左日記・蜻蛉日記・紫式部日記・和泉式部日記・更級日記
…『平安日記文学総合語彙索引』

・とはすがたり…『西端幸雄・木村雅則・志甫由紀恵編／勉誠社／1996』

・とはすがたり…『とはすがたり総索引』（辻村敏樹編／笠間書院／1992）

【隨筆】(三種)

*『方丈記』は広本・略本を一種として表に計上した。

・枕草子…『校本枕冊子』(田中重太郎編/古典文庫/1966)

・方丈記(広本・略本)…『方丈記総索引』

・徒然草…『徒然草総索引』(時枝誠記編/至文堂/1955)

・青木伶子編/武蔵野書院/1965)

【歴史物語】(四種)

・栄花物語…『本文と索引 自立語索引篇』

(高知大学人文学部国語史研究会編/武蔵野書院/1985)

・大鏡…『大鏡の研究 本文篇』(秋葉安太郎編/桜楓社/1961)

・水鏡…『水鏡…本文及び総索引』(柳原邦彦編/笠間書院/1990)

・増鏡…『増鏡総索引』(門屋和雄編/明治書院/1978)

【軍記物語】(七種)

・将門記…『将門記…研究と資料』

(古典遺産の会編/新読書社/1963)

・保元物語…『保元物語総索引』

(坂詰力治・見野久幸編/武蔵野書院/1981)

・平家物語…『延慶本平家物語 索引篇』

(北原保雄・小川栄一編/勉誠社/1996)

・平治物語…『平治物語総索引』

(坂詰力治・見野久幸編/武蔵野書院/1979)

・曾我物語…『曾我物語総索引』

(大野晋・武藤宏子編/至文堂/1979)

・太平記…『土井本太平記…本文及び語彙索引』

(西端幸雄・志甫由紀恵編/勉誠社/1997)

・義経記…『義経記文節索引』

(大塚光信・天田比呂志編/清文堂出版/1982)

【説話物語】(四種)

・打聞集…『打聞集の研究と総索引』

(東辻保和編/清文堂出版/1981)

・古事談…『古事談語彙索引』(有賀嘉寿子編/笠間書院/2009)

・宇治拾遺物語…『宇治拾遺物語総索引』

(増田繁夫・長野照子編/清文堂出版/1975)

・十訓抄…『十訓抄…本文と索引』(泉基博編/笠間書院/1982)

【仏教説話】(七種)

・三宝絵…『三宝絵詞自立語索引』

(中央大学国語研究会編/笠間書院/1985)

・法華驗記…『大日本国法華經驗記…校本・索引と研究』

(藤井俊博編著/和泉書院/1996)

・法華百座聞書抄…『法華百座聞書抄総索引』

(小林芳規編/武蔵野書院/1975)

・宝物集…『宮内庁書陵部蔵本宝物集総索引』

(月本直子・月本雅幸編/汲古書院/1993)

・発心集…『発心集…本文・自立語索引』

(高尾稔・長嶋正久編/清文堂出版/1985)

・撰集抄…『撰集抄自立語索引』(安田孝子・梅野きみ子・野崎典子・森瀬代士枝編/笠間書院/2001)

・沙石集…『慶長十年古活字本沙石集総索引』

(深井一郎編/勉誠社/1980)

【今昔物語集】

・今昔物語集…『今昔物語集索引』(小峯和明編/岩波書店/2001)

【仏教関係書・神仙伝】(二四種)

・三教指帰…『三教指帰・性靈集』

(日本古典文学大系／岩波書店／1965)

・東大寺諷誦文稿…『東大寺諷誦文稿総索引』

(築島裕編／汲古書院／2001)

・極楽願往生歌…『極楽願往生歌・明恵上人歌集…本文と索引』

(山田巖・木村晟編／笠間書院／1977)

・仮名書き往生要集…『高野山西南院藏本往生要集総索引』

(月本直子編／汲古書院／2011)

・正法眼蔵随聞記…『正法眼蔵随聞記語彙総索引』

(田島毓堂・近藤洋子編／法蔵館／1981)

・歎異抄…『歎異抄…本文と索引』

(山田巖・木村晟編／新典社／1986)

・明恵上人夢記・却魔忘記・光言句義釈聴集記

…『明恵上人資料 第二』(高山寺典籍文書総合調査団編／東京大

学出版会／1978)

・高山寺本表白集…『高山寺本古往来表白集』

(高山寺典籍文書総合調査団編／東京大学出版会／1972)

・江都督納言願文集…『江都督納言願文集』

(平泉澄校勘／至文堂／1929)

・日本往生極楽記・本朝神仙伝・三外往生記・本朝新修往生伝・

高野山往生伝・念仏往生伝

…『往生伝・法華験記』(日本思想大系／岩波書店／1974)

・通俗釈尊伝記・釈迦八相

…『中世仏伝集』(国文学研究資料館編／臨川書店／2000)

・烏亡問答鈔・諸諷誦・安極玉泉集・肝心集・本朝諸社記

…『中世唱導資料集1・2』(国文学研究資料館編／臨川書店／2000)

【古記録】(七種)

・貞信公記・九曆・小右記・御堂関白記・後二条師通記・

中右記・殿曆…『古記録フルテキストデータベース』

(東京大学史料編纂所公開／2013.2.現在)

【古往来】(三種)

・雲州往来…『雲州往来 享禄本…研究と総索引』

(三保忠夫・三保サト子編／和泉書院／1997)

・和泉往来…『高野山西南院藏本和泉往来総索引』

(築島裕編／汲古書院／2004)

・高山寺本古往来…『高山寺本古往来表白集』

(高山寺典籍文書総合調査団編／東京大学出版会／1972)

【その他】※〔 〕内は略称

〔靈〕性靈集…『性靈集一字索引』(静慈圓編／東方出版／1991)

〔梁〕梁塵秘抄…『梁塵秘抄総索引』

(王朝文学研究会編／武蔵野書院／1972)

〔三〕三教指帰注…『中山法華経寺藏本三教指帰注総索引及び研究』

(築島裕・小林芳規編／武蔵野書院／1980)

〔草〕無名草子…『無名草子総索引』(坂詰力治編／笠間書院／1975)

〔抄〕無名抄…『無名抄総索引』

(鈴木一彦・鈴木雅子・村上もと編／風間書房／2005)

〔海〕海道記…『海道記総索引』

(鈴木一彦・猿田知之・中山緑朗編／明治書院／1976)

〔明〕明恵上人歌集…『極楽願往生歌・明恵上人歌集…本文と索引』

(山田巖・木村晟編／笠間書院／1977)

〔表A〕

[illegible]

通し 番号	見出し語	ジャンル数(一二種)										通し 番号	見出し語	ジャンル数(一二種)											
		王朝物語(五種)	日記文学(三種)	歴史物語(四種)	軍記物語(七種)	説話物語(四種)	仏教説話(七種)	今昔物語集	仏教関係書等(二四種)	古記録(七種)	古往来(三種)			王朝物語(五種)	日記文学(三種)	歴史物語(四種)	軍記物語(七種)	説話物語(四種)	仏教説話(七種)	今昔物語集	仏教関係書等(二四種)	古記録(七種)	古往来(三種)		
139	摘花											0 93	有驗											5	
140	天台				3	4	3	7	1	10	7	8 94	圍繞	1		1	1	4	1	5	1	8	1		9
141	安居			1		1	1	4	1	4	5	8 95	威力			1			2	1	5			5	
142	三昧	2	1	2	3	5	2	6	1	14	6	11 96	威光			1	4	3	1	4	2			6	
143	三帰				1			2	1	4	2	6 97	擁護	1		1	3		4	1	4			7	
144	緑色				1		1	1	1	1	1	5 98	灌仏	1		1	1	1	1			7		6	
145	讃嘆	1	1		1	1	1	4	1	12		8 99	灌頂	1		3	2	4	1	11	6			8	
146	檀応				5	2	2	1	11	3	1	9 100	供養	5	2	1	4	5	3	7	1	16	6	11	
147	三明				1	3	2	1	5			6 101	恭敬			3	2	4	1	11		1		7	
148	三論				2		3	1	6	4		6 102	帰依			1	3	2	6	1	8	1		8	
149	三綱				1	1						4 103	花嚴	1	1	1	2	2	6	1	11	3		10	
150	彩繪								1			1 104	俱舍			1	1	2	4			1		6	
151	最勝	1		1	4	2	2	3	1	3	6	10 105	苦修								1			1	
152	三礼				1	1			3	7		5 106	苦行	1		1	1	4	1	11	2			8	
153	散花	1			1		2	5	6	1		7 107	久住					1		2	2			4	
154	坐禅				3		4	1	10	2		6 108	功德	5	1	2	4	4	3	7	1	14	4	1	
155	燕門		1		1	1		1	2			5 109	觀空				1	1	1	2				3	
156	齋食				1		1	4	4			4 110	悔過				2	1	2	1	1			6	
157	斎戒						2	1	4			4 111	化他			1		2		1				4	
158	懺悔	2		2	4	2	6	1	12	1		9 112	摩頂					1	1	6				3	
159	懺悔	1	1		3	2	3	1	6	1		9 113	結縛	2	1	2	1	4	6	1	12	3	2	12	
160	讃仏				1	1			1			4 114	結余			1	1	1	1					4	
161	折念	1		4	2	4	1	7	5			7 115	潔斎			1	4	1	2	1	5	6		8	
162	折斷				1	1	1	6	6	1		7 116	顯密		1	2	3	1	6	1	11	2		9	
163	義勝				1			1				2 117	教法				4	4	1	8				5	
164	経誦				2	3	2	7	1	9	3	8 118	顯教			1		2	1	3	1			6	
165	経蔵				1	3	3	1	1	5	4	7 119	偈頌					1	1					3	
166	行香	1			1				6			3 120	結願	1	1	1	2	2	2	3	1	7	7	1	
167	行道	1	1	1	1	3	1	2	1	6	6	11 121	驗者	2	2	1	3	3	3	1	1	1	2	10	
168	行者	1		2	4	3	5	1	8	1		9 122	教化	2	1		3	2	5	1	6	2		8	
169	経行				1				2			3 123	教授						1	4	3			4	
170	雄摩			3	1	2	5	1	4	7	2	8 124	加行	1		1	1		2		1	1		6	
171	面向						1					1 125	仏法	1		1	3	5	4	7	1	18	5	11	
172	密教				1	1	3	1	8	1		7 126	仏名	1	2	2	1		2	1	5	7	1	11	
173	冥加	1		5	2	2		1	1			7 127	布薩	1				2		1	1			4	
174	弥天											1 128	誦誦	1		1	2	3	1	7	7			7	
175	名聞		2	1	5	2	4	1	5	1		8 129	房鐘		1	1	1				3	1		4	
176	冥誦				1			1				2 130	舞台	1	1		1	2	2	1		6		8	
177	修法	4	3	1	4	2	4	1	1	5	7	11 131	五戒	1		1	3	1	6	1	4	1		11	
178	石塔				1	1	1		2	2	1	6 132	五時				2		2		3	1		9	
179	誦經	3	3	2	4	2	3	2	1	6	6	11 133	金兼				1							1	
180	守護				1	6	2	3	1	6	6	8 134	金堂			1	3	2	2	3	1	3	5	8	
181	四弘						2	1	6			3 135	金鼓			1	1			1	3			5	
182	自利				1	2		2	4			3 136	許可								1			1	
183	莊嚴	2	1	3	4	2	6	1	13	2		10 137	護摩	1	1	2	3		1		5	5		8	
184	周遊						1					1 138	御番会	1	1	3	2	1	2	1	4	7	1	10	

通し 番号	見出し語	王朝物語(五種)	日記文学(五種)	随筆(三種)	歴史物語(四種)	軍記物語(七種)	説話物語(四種)	仏教説話(七種)	今昔物語集	仏教関係書等(二四種)	古記録(七種)	古往来(三種)	その他	ジャンル数(一二種)
185	勝利			1	3	1	2	1	4					6
186	信施				1	2	1	4						4
187	受記				1	1	1	3	1				梁	6
188	章疏				1	1	1	1	2				靈	6
189	聖教		1	1	3	2	6	1	12		1		梁明	9
190	真言	1	1	2	4	2	4	5	1	17	7		靈梁明	11
191	止観			1	1	4	2	6	1	6	3		靈梁	9
192	悉曇					1				2			靈明	3
193	成実													0
194	寺家				1	1	1		6					4
195	鐘禮				1	1	2	1	1	2	2			7
196	鐘堂				1									1
197	常行		1		2	1	2	1	3	6				7
198	石磬													0
199	借住													0
200	呪願	1		1	2	1	2	1	2	7			明	9
201	受持				3	3	1	9	1				靈梁	6
202	進誓													0
203	釈教				1	1								2
204	淨行				1	2	1	1	1	2	1			7
205	修験				2	1	1	1						4
206	修学	1			3	2	4	1	4	4			梁	8
207	修行	3	3	2	3	6	4	7	1	17	4		靈梁三海明	11
208	受戒				3	4	3	3	1	7	6		靈	8
209	師禮				2	2	2	1	2		2			6
210	師匠		2		3	1	2		3	1	1			7
211	自恣						2		1					2
212	障碍				2	1	2	1	6	1				6
213	瀉瓶							1	5	1			靈	4
214	釈經								2	2			靈	3
215	衆断													0
216	廻向	1	1	1	1	3	1	6	1	11	4			10
217	譬喩							5	1	1	1			4
218	白毫				1	2	1		7				梁	5
219	非時	1		1	1	1	2		1	4			靈	7
220	誓願			1	3	1	6	1	9				靈梁海	7
221	刹柱													0
222	説經			2	2		1	2	1	1	5			7
223	説法			1	2	5	3	5	1	8	5	1	靈梁抄海明	10
224	禪房				1						1			2
225	禪室				1	1	2		2	2	1		靈	7
226	禪定	1	1	1	6	2	4	1	13	2	1		靈梁	11

ジャンル名	書名	異なり語数	/226	随筆	徒然草	39	0.17
				その他	海道記	38	0.17
今昔物語集	今昔物語集	145	0.64	歴史物語	増鏡	38	0.17
軍記物語	平家物語	140	0.62	仏教関係書	本朝神仙伝	38	0.17
軍記物語	太平記	137	0.61	王朝物語	源氏物語	37	0.16
仏教説話	法華験記	135	0.6	随筆	枕草子	35	0.15
古記録	小右記	123	0.54	仏教関係書	仮名書き往生要集	35	0.15
仏教説話	沙石集	117	0.52	歴史物語	大鏡	34	0.15
古記録	中右記	115	0.51	歴史物語	水鏡	32	0.14
説話物語	古事談	103	0.46	仏教関係書	光言句義釈聴集記	32	0.14
仏教関係書	江都督納言願文集	100	0.44	仏教説話	宝物集	32	0.14
その他	性靈集	92	0.41	軍記物語	保元物語	28	0.12
歴史物語	栄花物語	87	0.38	仏教関係書	却塵忘記	24	0.11
仏教関係書	高山寺本表白集	85	0.38	その他	明恵上人歌集	21	0.09
古記録	殿暦	77	0.34	古往来	雲州往来	21	0.09
仏教説話	三宝絵	76	0.34	仏教関係書	歎異抄	21	0.09
古記録	御堂関白記	75	0.33	仏教関係書	通俗釈尊伝記	20	0.09
仏教説話	発心集	75	0.33	仏教関係書	本朝諸社記	20	0.09
古記録	後二条師通記	74	0.33	説話物語	打聞集	19	0.08
仏教関係書	烏亡問答抄	69	0.31	王朝物語	狭衣物語	18	0.08
軍記物語	曾我物語	67	0.3	日記文学	蛸蛸日記	16	0.07
仏教関係書	本朝新修往生伝	67	0.3	軍記物語	平治物語	16	0.07
仏教関係書	三外往生記	60	0.27	仏教関係書	釈迦八相	16	0.07
説話物語	十訓抄	59	0.26	古往来	高山寺本古往来	14	0.06
仏教関係書	高野山往生伝	59	0.26	随筆	方丈記	13	0.06
仏教関係書	東大寺臨講文稿	57	0.25	その他	無名草子	12	0.05
日記文学	とはずがたり	56	0.25	古往来	和泉往来	12	0.05
仏教説話	撰集抄	56	0.25	仏教関係書	念仏往生伝	12	0.05
古記録	貞信公記	54	0.24	王朝物語	浜松中納言物語	11	0.05
仏教関係書	日本往生極楽記	53	0.23	王朝物語	夜の寝覚	11	0.05
説話物語	宇治拾遺物語	52	0.23	その他	三教指帰注	11	0.05
仏教関係書	正法眼蔵随聞記	52	0.23	日記文学	更級日記	9	0.04
仏教関係書	安極玉泉集	52	0.23	王朝物語	落窪物語	8	0.04
仏教関係書	肝心集	51	0.23	日記文学	紫式部日記	8	0.04
古記録	九層	50	0.22	仏教関係書	三教指帰	8	0.04
軍記物語	義経記	48	0.21	仏教関係書	極楽願往生歌	5	0.02
仏教関係書	明恵上人夢記	47	0.21	その他	無名抄	4	0.02
仏教関係書	諸願誦	46	0.2	軍記物語	将門記	4	0.02
その他	梁塵秘抄	44	0.19	日記文学	土左日記	2	0.01
仏教説話	法華百座聞書抄	41	0.18	日記文学	和泉式部日記	0	0

〔表B〕異なり語数順—文献名

ジャンル名	異なり語数	/226
仏教関係書	186	0.82
仏教説話	174	0.77
軍記物語	174	0.77
古記録	150	0.66
今昔	145	0.64
説話物語	118	0.52
歴史物語	107	0.47
日記文学	63	0.28
随筆	62	0.27
王朝物語	40	0.18
古往来	40	0.18
その他	129	0.57

〔表C〕異なり語数順—ジャンル名

〈表F〉より広範囲に用いられる語

通し番号	見出し語	ジャンル数 (一二種)											その他	ジャンル数 (一二種)
		王朝物語 (五種)	日記文学 (五種)	随筆 (三種)	歴史物語 (四種)	軍記物語 (七種)	説話物語 (四種)	仏教説話 (七種)	今昔物語集	仏教関係書等 (二四種)	古記録 (七種)	古往來 (三種)		
22	法花	3	2	3	4	6	4	7	1	19	7	2	雲染草海	12
29	菩提	4	2	3	4	6	4	7	1	21	7	1	雲染三海明	12
31	統経	3	3	3	2	3	2	3	1	9	7	2	雲	12
65	講御	3	2	1	3	2	3	3	1	6	7	1	染抄	12
72	尋御	1	3	2	3	3	3	5	1	9	7	1	雲	12
108	功徳	5	1	2	4	4	3	7	1	14	4	1	雲染草海	12
113	結縁	2	1	2	1	4	4	6	1	12	3	2	雲染海	12
6	論議	1	2	3	2	1	4	1	6	7	1		染三	11
8	八講	4	2	1	2	2	1	5	1	5	7	1		11
17	法文	3	1	3	3	4	5	1	5	4	1		染三	11
40	中門	3	2	3	4	3	1	1	1	7			草	11
43	穂間	1	2	3	4	3	7	1	8	2	1		海	11
54	加持	3	2	2	1	2	3	5	1	6	7		雲	11
74	道心	1	2	3	5	3	7	1	9	2	1		三草海	11
86	念仏	4	3	3	2	6	4	6	1	12	7		雲染草海	11
100	供養	5	2	1	4	5	3	7	1	16	6		雲染三草	11
120	結願	1	1	2	2	2	3	1	7	7	1			11
125	仏法	1	1	3	5	4	7	1	18	5	2		雲染海明	11
126	仏名	1	2	2	1	1	2	1	5	7	1		草	11
142	三昧	2	1	2	3	5	2	6	1	14	6		雲染草	11
167	行道	1	1	1	1	3	1	2	1	6	6		雲	11
177	修法	4	3	1	4	2	4	1	1	5	7		染	11
179	脩經	3	3	2	4	2	3	2	1	6	6		雲	11
190	真言	1	1	2	4	2	4	5	1	17	7		雲染明	11
207	修行	3	3	2	3	6	4	7	1	17	4		雲染三海明	11
226	禪定	1	1	1	6	2	4	1	13	2	1		雲染	11

〈表E〉より狭い範囲で用いられる／用例のない語

通し番号	見出し語	ジャンル数 (一二種)											その他	ジャンル数 (一二種)
		王朝物語 (五種)	日記文学 (五種)	随筆 (三種)	歴史物語 (四種)	軍記物語 (七種)	説話物語 (四種)	仏教説話 (七種)	今昔物語集	仏教関係書等 (二四種)	古記録 (七種)	古往來 (三種)		
45	除鉄													0
52	留難													0
69	戦卒													0
139	病花													0
193	感策													0
198	官醫													0
199	信住													0
202	遮嘉													0
215	衆前													0
221	利柱													0
7	胸底										1			1
9	八教										1			1
11	入札										3			1
39	長行												雲	1
68	寺堂										1			1
90	孔尼							1						1
105	菩提									1				1
133	金庫				1									1
136	許可									1				1
150	彩幡										1			1
171	面南						1							1
174	孫牙												雲	1
184	周頭							1						1
196	踵堂				1									1

〈表D〉古記録類に現れないが、別ジャンルに現れる語群

通し番号	見出し語	ジャンル数 (一二種)											その他	ジャンル数 (一二種)
		王朝物語 (五種)	日記文学 (五種)	随筆 (三種)	歴史物語 (四種)	軍記物語 (七種)	説話物語 (四種)	仏教説話 (七種)	今昔物語集	仏教関係書等 (二四種)	古記録 (七種)	古往來 (三種)		
189	聖教			1	1	3	2	6	1	12		1	染明	9
145	讃嘆		1	1		1	1	4	1	12		1	抄海	8
1	引張					1	2	5	1	9			染海	7
4	因衆				1	2	4	1	1	11				7
12	忍辱					1	2	2	3	1	8		雲染	7
56	降伏			1	1	4	1	1	1	7				7
84	網陀					1	2	1	3	1	1		染海	7
97	極護		1			1	3		4	1	4		雲染海	7
101	飛勢					3	2	4	1	11		1	雲染	7
220	管願				1	3	1	6	1	9			雲染海	7
15	柔和					2	1	3	1	8			雲	6
41	任持					1	2	1	1	2			明	6
51	利義			1		1	2	1	3				雲	6
110	悔過					2	1	2	1	1			染	6
147	三明				1	3	2	1	5				雲	6
185	轉利			1		3	1	2	1	4				6
209	師徴					2	2	2	1	2		2		6

〈表G〉仏教関係書に現れないが、別ジャンルに現れる語群

通し番号	見出し語	ジャンル数 (一二種)											その他	ジャンル数 (一二種)
		王朝物語 (五種)	日記文学 (五種)	随筆 (三種)	歴史物語 (四種)	軍記物語 (七種)	説話物語 (四種)	仏教説話 (七種)	今昔物語集	仏教関係書等 (二四種)	古記録 (七種)	古往來 (三種)		
130	機台	1	1		1	2	2	2	1		6			8
73	常童子	1	1	1	2				1		6	1		6
98	漫仏	1		1	1	1		1			7			6
104	俱舍				1	1	2	4			1	染明		6
135	金鼓			1							3	雲		5
34	念聲					1		1	1	1	1			4
35	長調		1		1	2					2			4
44	定書			1	1					1	3			4
58	講堂					6	2	2	1		5			4
114	結衆				1	1	1	1			6		雲	4
149	三綱						1	1			1		雲	4
160	讀仏				1	1					6			4
194	寺堂				1	1		1	1					4
205	優婆				2	1	1	1	1					4

〈表B〉の通り、仏法部語彙の使用率では「今昔物語集」が最も高くなっており、「平家物語」「太平記」と続く。これらについては各文献の総異なり語数が大いに影響しているものと推測されるものの、それぞれが一書で他の仏教関係書類を大きく上回っていることは、仏法部語彙が、法会の場で用いられるような種類の語彙よりも所謂和漢混淆文の語彙と重複する部分が大きいことを示しており、字類抄に収録された語の性格がより日常・一般的なものであることを裏付ける結果に他ならない。これは〈表G〉に示したような、仏教関係書に見つけ難い語群によっても示されるものである。

それでは字類抄語彙が「日常・一般的であること」が何を指向するかと言うと、従来はその代表が「古記録」であるとされてきたのである。しかし、〈表D〉の如く、今回調査対象とした七種の「古記録」類には一切現れない一七語の中に、「因果」「讃嘆」等の語が見出せ、これらの全てが「軍記物語」「仏教説話」「今昔物語集」に使用されていること（もはや「頻出の語」と言っても良い）からも、字類抄が「記録・往来」のような実用的な用途のみのために編まれたものではなく、裏を返せばまたそのような位相の語彙のみを採録しようとしたものでもないということが自ずと理解されるのである。

おわりに

さて、以上の用例調査の範囲の甚だ不十分である点を補えば、すなわち調査対象である文献や時代を広げれば、用例の多寡や有無に変化が生じることは間違いない。しかし、ある語がここに挙げた多くの書物に現れないということは、実際の文章の中で使用された頻度と一定の度合いで比例するものと考えて良いのではないだろうか。また、〈表D〉〈表G〉のように、各文献で特有に「出現しない」語を眺めることも、字類抄の性格を知る上では不可欠の作業であるということが明らかとなった（やはり、「因果」等が右に挙げた古記録類に出ないことは不思議である）。

すなわち用例を眺めれば、古記録等の実用的な文章を記す目的のための語というよりは、仏教説話等に用いられ、庶民にも通じる程度の難度の語が多く収録されていた事実が浮き彫りになってくるのである。無論、他部と同様に、古語（同時代の用例が見出し難い語）も含まれているようであるが、「今昔物語集」が仏法部語彙の六四%をカバーしていることから、その多くは唱導文学に用いられることも期待されたものであつたはずである。

《今後の課題》

今回調査の及ばなかった文獻を見ることによって、ジャンル毎のカバーする異なり語数も変化するであろう。また今回は文獻のジャンルによつて区別しその傾向を示したが、文獻筆録者の職種、読者・聴衆層、文体差、各文獻の語彙量等の視点を導入することや、小峯和明氏の定義されたような「法会文芸」という側面からこの問題を捉えなすこと、字類抄の表記（論議・加茶等）と共通する文獻層の探索を行うこと等も、有意義なことであろう。いずれも今後の課題である。

〔参考文献〕

小峯和明：『中世法会文芸論』（笠間書院／2009）

藤本灯：字音から見た三卷本『色葉字類抄』『仏法部』の性質

（訓点語と訓点資料）130／2013.3掲載予定）

『望月佛教大辭典』（世界聖典刊行協会／1954・1957増訂版）

『佛教語大辭典』（中村元／東京書籍／1975）

『日本国語大辭典 第二版』（小学館）

『色葉字類抄漢字索引』

（島田友啓編／古字書索引叢刊／1966・1970）

〔付記〕

・本稿は、第一〇七回訓点語学会研究発表会（於東京大学山上会館／平成二四年一〇月二一日）の発表原稿の一部に加筆修正を加えたものである。

・本稿を成すにあたり、萩原義雄先生から特に語義・表記に関して重要な御教授を賜った。記して感謝申し上げる。

・先行研究の引用、書籍名等で、旧字を通行字に改めた場合のあることを、お断りする。

・本研究は、平成二四年度科学研究費補助金（特別研究員奨励費）による成果の一部である。

（ふじもと あかり 日本学術振興会特別研究員・PD）